

『当院におけるda Vinci SP導入実績』 に関するご協力のお願い

研究の目的と意義	<p>近年、ロボット支援下手術は劇的な勢いで普及しています。低侵襲手術の中心的な位置を占めており、da Vinci手術システムはその代表的なプラットフォームとして、従来の腹腔鏡手術と比較すると、3次元拡大視野、手振れ補正、多関節鉗子による高い操作性があり、複雑な手術操作を可能にしています。</p> <p>da Vinci SP (Single Port) は、単孔式ロボット手術を実現する次世代型プラットフォームで、単一のポートから複数のアームと内視鏡を展開します。従来のda Vinci Xi (マルチポート型) と比較し、腹壁への侵襲がより少なく、整容性の向上や術後疼痛の軽減が期待されます。また、骨盤内などの狭小空間においても優れた操作性を発揮することが報告されています。</p> <p>当院（済生会横浜市東部病院 産婦人科）では2024年10月よりda Vinci SPを導入して、婦人科良性疾患および悪性疾患に対するロボット支援下手術を開始しました。2025年7月までに良性疾患40例、悪性疾患18例の計58例を施行しています。この研究は、当院におけるda Vinci SP導入初期の手術成績を系統的に評価し、その有用性および安全性を検討することを目的としています。</p>
研究の方法	当院産婦人科で施行されたロボット支援下手術の診療録データを使用して、解析を実施します。
対象者	西暦2024年10月1日～2025年7月31日の間に、当院産婦人科においてロボット支援下手術を施行された患者さん。
利用する試料/情報	情報等：手術時間、コンソール時間、出血量、開腹手術歴、BMI、摘出物重量、疾患名、術式名、術中合併症の有無。
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	研究結果は婦人科内視鏡学会・日本産科婦人科学会等での学術発表および学術雑誌への投稿により公表する予定です。公表の際には研究対象者を識別できないよう匿名化して報告する予定です。
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年08月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。 結果公表や発表後に同意は撤回できませんのでご了承ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 産婦人科 / 婦人科部長 / 吉田 卓功
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 産婦人科 / 吉田 卓功